

インナーハウスプレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナル名（フリガナ）
フリガナ) トウキョウケイザイダイガク	フリガナ) ゲンダウホウガクブ	フリガナ) ハシヅメ
東京経済大学	現代法学部	橋爪ゼミナル

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) オシキリチーム	フリガナ) オシキリ フミヤ		
押切チーム	押切 郁也	4	有

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

指示棒、Tシャツ

研究テーマ（発表タイトル）

イクボス Week～イクボス倍増計画～

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

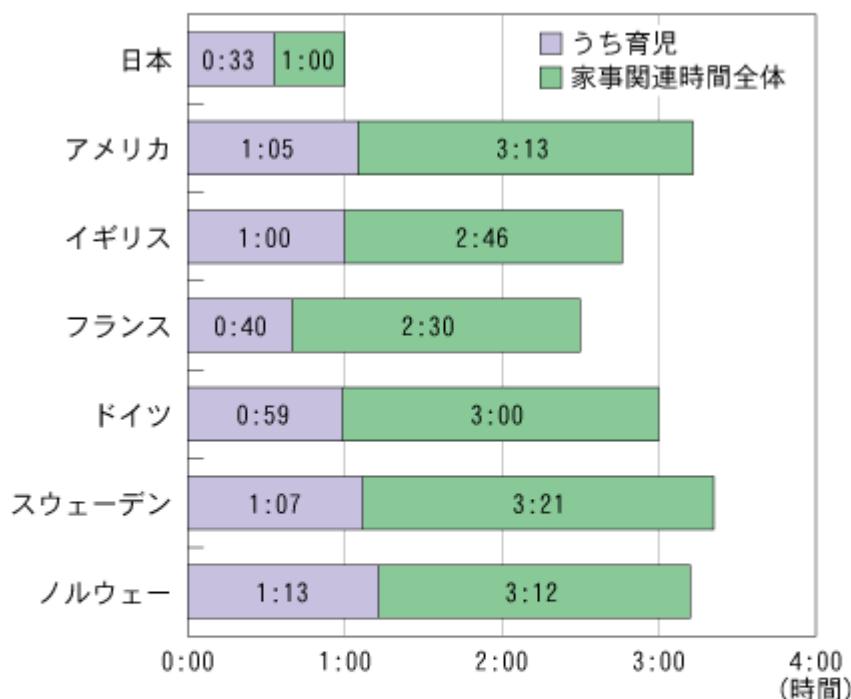
1. 研究概要（目的・狙いなど）

イクボスを増やすことで男性の育児休暇取得の促進、働きやすい環境づくりを目的としています。男性の育児休暇取得率を上げることで、両親共に子育てしやすい日本を作る、職場環境を整えることでワークライフバランスが充実しより豊かな生活を送れることを狙いとしています。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在、男性の育児休暇取得率は徐々に上昇しているものの、過去最高で 3.16%と女性の 81.5%に比べると低いです。女性の社会進出が増え、様々な働き方や、共働き世代が増加している状況です。男性が家事育児に関わることにより、家庭に影響が与えることが研究結果ででています。しかし、他先進国に比べるとまだまだ参加率は低く、家庭内の仕事は女性がやるものという認識が強いのが現状です。

図4 6歳未満児のいる夫の家事、育児時間（週全体）



[資料] Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004).

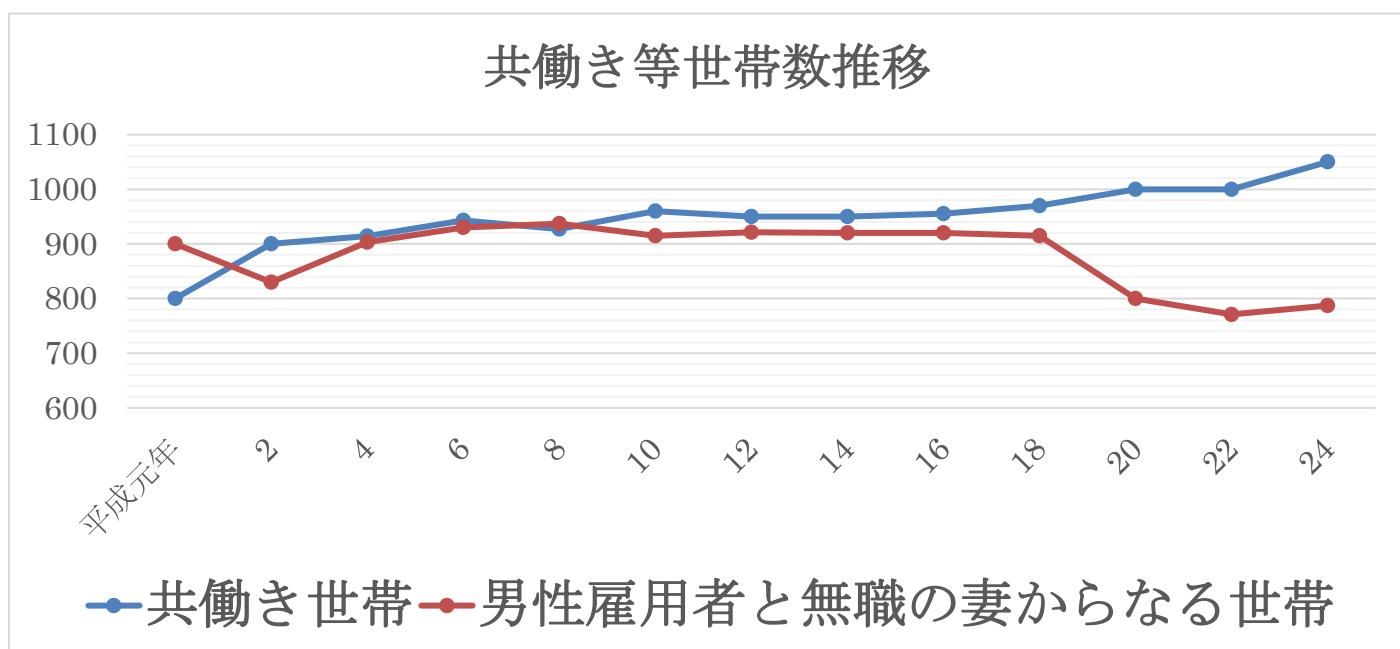
Bureau of Labor Statistics of the U.S. "America Time-Use Survey Summary" (2006).

総務省「社会生活基本調査」(平成18年)

※1 日本の家事関連時間は、「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計である。

※2 日本の数値は「夫婦と子供の世帯」に限定した夫の時間である。

〔出所〕平成20年版「少子化社会白書」



3. 研究テーマの課題

男性の育児休暇率が上がらない原因是、「職場環境が整っていないから」と考えています。特に、人手の少ない中小企業での育児休暇を取得することが困難であると考えています。そこで、私たちは環境を整えることが重要な

課題と考えました。実際にイクボスとして活躍されている管理職の方がまだまだ少ないという現状があります。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

イクボス Week を実施します。

効率よく仕事を進めるマネジメントスキルが磨かれ、また、社員交流を行うことでコミュニケーションを図ることができ働きやすい職場環境を作りだします。

その結果、ワークライフバランスの充実や団結力を深めることができます。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

NPO 法人ファザーリングジャパンのセミナー参加

参加者にインタビューしました。

6. 結果や今後の取り組み

NPO 法人や中小企業と連携し、導入を目指します。

7. 参考文献

「平成 28 年度雇用均等調査」(厚生労働省 HP)

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/71-28.html>

「平成 25 年度育児休業制度等に関する実態把握のための調査研究事業」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000042340.html>

「NPO 法人 ファザーリングジャパン」<http://fathering.jp/>

「事業主の方への給付金のご案内」(厚生労働省 HP)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/shokuba_kosodate/ryo_uritsu01/

「雇用保険制度における積立金等について」(厚生労働省 HP)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/koyouhoken06/>

「平成 23 年度全国母子世帯等調査結果報告」(厚生労働省 HP)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/boshi-katei/boshi-setai_h23/

「夫の協力 -少子化対策-」(内閣府 HP)

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/data/ottonokyouryoku.html>

「男性の育児休暇に関する意識調査」(ユーキャン 2014) <http://www.u-can.co.jp/topics/research/2014-06/>

「共同参画 2017 年 1 月号」(男女共同参画局 H P)

http://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2016/201701/201701_04.html

「かわいいフリー素材集 いらすとや」

<http://www.irasutoya.com/search?q=%E8%82%B2%E5%85%90>

「女性活躍推進の経済効果」(内閣経済社会総合研究所)

「子どもが育つ条件-発達心理学から考える」 柏木恵子著 (岩波新書)

「育児・介護を乗り切るダイバーシティ・マネジメント イクボスの教科書」(日経 BP 社)

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナーハウス・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経 BP マーケティング社様に作製していただき、大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナーハウス・東京経済大学大会実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。
- ※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。
- ※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください